

# 平成29年度事業報告書

## 〔公益目的事業〕

### I 国際理解の推進

#### 1 施設の運営及び情報収集提供機能の拡充

##### (1) 国際交流プラザの運営

「国際交流プラザ」の運営について、県の委託を受けて、県民や在住外国人等をはじめ関係団体等に幅広く利用されるよう各種のサービスの提供を行った。

##### (2) 国際交流プラザのサービス機能の充実

###### ア ライブラリーの整備

海外渡航や留学情報、アジア・太平洋諸国をはじめとする世界各国の最新事情及び語学学習や異文化理解、交流の基礎となる鹿児島県の理解に役立つ図書等の収集・充実を図り、閲覧に供するとともに、海外の新聞や雑誌等を定期的に購入し、閲覧に供した。

図 書	2, 038冊
ビデオ・DVD	189巻
外国語新聞	4紙
外国語雑誌	4紙

###### イ 情報提供サービスの推進

県民向け並びに在住外国人向け情報提供サービスの充実に努め、国際理解の増進を図った。

また、若者等向けに「ワーキングホリデーセミナー」を開催し、情報の提供と理解を図った。

開催日	平成29年8月5日(土)
場 所	かごしま県民交流センター
参加人数	23名

###### ウ 相談機能の充実

在住外国人からの相談等に対する相談機能の充実を図った。

##### (3) インターネットによる情報提供機能の充実

ホームページの充実を図り、県民及び在住外国人にインターネットにより多種多様な情報を提供した。

#### 2 広報出版活動の充実

##### (1) 日本語情報誌「DANRYU」の発行

県内の国際交流活動情報を盛り込んだ県民向けの日本語情報誌を発行した。

発行回数	: 年1回	発行部数	: 2, 300部
------	-------	------	-----------

##### (2) 英文情報誌「South Wing」の発行

県内在住の外国人を対象に鹿児島県の日常的に必要な情報を提供するため英文情報誌を発行した。

発行回数	: 年1回	発行部数	: 800部
------	-------	------	--------

### (3) 事業報告書の作成

協会事業を広く県民や県内国際交流・協力団体、市町村等に紹介するとともに、協会事業の実績を整理保存するため事業報告書を作成し、ホームページ上に掲載した。

作成回数：年1回
----------

### (4) 「国際交流ひろば」の発行

当協会及び県内国際交流・協力団体等の実施するイベント情報等の情報紙を発行した。

発行回数：毎月1回	発行部数：600部
-----------	-----------

## 3 国際理解事業の推進

### (1) 外国語・文化講座等の開催

#### ア 「県国際交流員による文化講座」等の開催

県国際交流員による外国の文化紹介や異文化体験等を通して、県民の国際理解を促進するとともに、多文化共生の地域づくりへの関心を高めた。

また、県内各地に出向き、多くの県民が異文化体験できる機会の提供に努めるとともに、県民交流センター男女共同参画推進課と連携して、県民及び本県在住外国人を対象とした講座を実施した。

実施回数：6回	参加者：延べ220名
---------	------------

#### イ 「在住外国人による公募型国際理解講座」の開催

在住外国人が実施する国際理解講座を公募し、これらの外国人による講座の開催を支援することを通して、在住外国人自らが本県における多文化共生の地域づくりに積極的に参画する機運を醸成した。

実施回数：2回	参加者：延べ58名
---------	-----------

#### ウ 「児童・生徒向け国際理解講座」の開催

##### (ア) 「国際理解ミニ講座」の開催

社会科見学等で国際交流プラザを訪れる小中学生を対象に、協会職員による「世界の中のかごしま」をテーマとした講話や、国際交流員の出身国の文化紹介等を行う「来て、見て、知って！ 国際理解ミニ講座」を開催し、児童・生徒の海外への関心を高め、異文化理解を促進した。

実施回数：10回	参加者：延べ375名
----------	------------

##### (イ) 「英語絵本の読み聞かせ講座」の開催

幼児から小学校低学年くらいまでの児童とその保護者を対象に、県国際交流員が英語の絵本の読み聞かせを行う「みんなあつまれ！ えいごde絵本の読み聞かせ」講座を開催し、幼少期から英語に触れる機会を提供するとともに、子どもたちの英語への関心を高めた。

実施回数：15回	参加者：延べ408名（親子145組）
----------	--------------------

#### エ 「一般向け国際理解講座」の開催

市町の国際交流協会、地域の自治会など国際交流に関心のある一般の方々を対象に、協会職員や県国際交流員が、当県の国際交流の現状等について説明を行う

「鹿児島と世界を考える」国際理解講座を開催し、地域レベルでの国際交流に関する理解の促進を図った。

実施回数：5回	参加者：496名
---------	----------

オ ランチタイム・イングリッシュ・クラブ

英語による外国文化の紹介や自由な意見交換を行うため、県国際交流員による「ランチタイム・イングリッシュ・クラブ」を開催した。

開催日：	毎週金曜日
実施回数：	39回   参加者： 延べ509名

カ 中国語ランチタイムトーク

中国語による外国文化の紹介や自由な意見交換を行うため、県国際交流員による「中国語ランチタイムトーク」を開催した。

開催日：	毎週火曜日
実施回数：	32回   参加者： 延べ423名

キ 韓国語ランチタイムトーク

韓国語による外国文化の紹介や自由な意見交換を行うため、県国際交流員による「韓国語ランチタイムトーク」を開催した。

開催日：	毎週水曜日
実施回数：	44回   参加者： 延べ222名

(2) 国際理解プログラム事業の実施

「協力隊OBと留学生が先生～見える・学べる・世界の国々～」事業の実施

青年海外協力隊や国際協力、発展途上国等に対する理解を深めるため、青年海外協力隊のOB/OGや留学生等を小・中学校に派遣する事業を、鹿児島県青年海外協力隊を支援する会及び青年海外協力隊鹿児島県OB会とで組織する実行委員会で開催した。

派遣学校	40校
派遣人数	延べ61名
参加者	2,861名

(3) 国際理解教材の整備・貸出し

国際理解、国際交流、国際協力等に資する地域の国際化を目的とした事業等の実施者に対して、民族衣装や国旗、地図等の貸出しを行うとともに、その整備・充実を図った。

民族衣装	17回（学校1，市町村0，各種団体等16）
国旗	10回（学校0，市町村5，各種団体等5）
地図	1回（学校0，市町村0，各種団体等1）

## II 国際交流活動の展開

### 1 海外との相互交流の推進

#### (1) 「韓国全羅北道文化探訪団派遣事業」の実施

本県と交流のある韓国全羅北道に県民を派遣し、全羅北道の歴史・文化の探訪等を通して、一層の交流促進を図った。

派遣時期	平成29年11月1日(水)～5日(日)
派遣人数	14名(うち2名は協会職員)

#### (2) 「香港城市大学専上学院日本語研修生受入事業」の実施

本県と交流のある香港の日本語学習を希望する大学生等に対し、日本語及び日本文化学習の機会を提供し、本県との交流促進を図った。

受入時期	平成29年7月9日(日)～30日(月)
受入人数	12名

#### (3) 留学関係情報の提供及び相談

世界主要国の留学制度、海外生活、海外事情、ワーキングホリデー等に関する書籍を整備し、情報を提供するとともに、相談に応じたり専門機関の紹介を行った。

相談件数	23件	※留学、ワーキングホリデーに関する相談
------	-----	---------------------

### 2 在住外国人との交流促進

#### (1) 国際交流活動の促進

市町村・企業・団体等が在住外国人との交流活動を行う場合、企画立案等の相談に応じるとともに、共催や後援の形で必要な協力を行った。

後援件数	9件
------	----

#### (2) 「地域国際交流促進事業」の実施

在住外国人に県内各地で開催される国際交流イベント等に関する情報を提供し、参加を働きかける取り組みを通し、県民と在住外国人との交流促進を図った。

開催日	場所	イベント名	内容
H29年7月26日(水) ～27日(木)	鹿児島市	MBC夏祭り	パネル展示、消しゴムはんこ体験(シンガポール)等
H29年10月15日(日)	肝付町	高山やぶさめ祭	パネル展示、カラーティッシュ工作等
H29年11月3日(金) ～4日(土)	知名町	生涯学習フェスティバル	パネル展示、英字新聞でエコバッグ作り等
H29年12月10日(日)	日置市	まるごと伊集院フェスティバル	パネル展示、消しゴムはんこ体験(シンガポール)等

### 3 国際交流組織等との連携・支援の強化

#### (1) 民間団体等の国際交流・協力活動への助成

県内の民間団体が行う海外との文化・スポーツ・学術等の国際交流活動、県民の国際理解の推進を目的とする活動、地域レベルの国際交流・協力の推進を目的とする活動等に対し助成金を交付した。

件数	1件	助成額	300千円
----	----	-----	-------

## (2) 市町村や市町国際交流協会・国際交流団体とのネットワークの推進

### ア 意見交換会の開催

共通の課題や問題を抱える市町村等の職員を対象とした意見交換会を開催し、問題解決のための方策の検討を行うとともに、ネットワークづくりを推進した。  
また、市町国際交流協会や国際交流団体間の情報交換及び連携を図るため、メンバーリストの活用を促進した。

開催日	平成29年9月27日(水)
開催場所	かごしま県民交流センター
参加市町村等	16市町4団体

### イ 「鹿児島県の国際交流・協力団体ダイレクトリー」の拡充

国際交流団体等のネットワークの一助とするため「鹿児島県の国際交流・協力団体ダイレクトリー」の掲載情報を随時更新するとともに、対象団体等の把握に努めた。

## (3) 全国組織等との連携

### ア 全国組織等との連携

地域国際化協会連絡協議会をはじめ、財団法人自治体国際化協会など当協会と関係の深い全国組織等との連携を密にし、事務・事業の円滑な推進を図った。

### イ 九州地区の協会間の連携

九州・沖縄地区の地域国際化協会で組織する連絡協議会の総会及び実務者会議に参加し、相互の情報交換や連携の強化を図った。

## 4 国際交流ボランティア制度の拡充

各種ボランティア登録者の拡大を図るとともに、登録者の充実した活動ができるよう支援した。また、協会の各種事業において、ボランティアの活動の機会を提供するとともに、広報等に努めた。

登録者の状況	語学ボランティア登録	51名
	ホストファミリーボランティア登録	43家庭
活動の状況	語学ボランティア活用	7件
	ホストファミリーボランティア活用	6件(17家庭)

## 5 旅券発給業務補助を通じた海外交流等の環境づくり

県の委託を受けて、かごしま県民交流センター内に設置されているパスポート窓口及び県内各地の地域振興局・支庁等において、旅券の申請受付・作成・交付の業務を行った。また、県民サービスの一環として、旅券用写真撮影・販売業務を行った。

項目	内容	備考
旅券交付件数	25,862件	県全体
写真販売総額	5,756,400円	

### Ⅲ 多文化共生社会の推進

#### 1 在住外国人と日本人の相互理解の促進

##### (1) 「在住外国人のための日本語・日本理解講座」の開催

県内に在住している外国人を対象に、日本語及び地域社会で生活する上で必要な生活情報等についての研修を行い、生活の充実とコミュニケーションの円滑化を図った。

クラス	開催日	講座回数	受講者数
午前の部	毎週水曜日（5月～2月）	30回	25名（延べ305名）
夜間の部	毎週木曜日（5月～2月）	30回	26名（延べ324名）

計 26か国の方が受講

##### (2) 日本語サロン「おしゃべりひろば」の開催

日本語の日常会話が可能な在住外国人を対象に、フリートーキングを行い、在住外国人どおしのネットワークや日本語会話の上達を図った。

実施回数	参加者数	出身国数
20回	延べ198名	20か国・地域

##### (3) 「多文化共生地域づくり事業」の実施

在住外国人を対象として、各種生活情報の提供を主な目的とした、多文化共生の地域づくりに資する講座を行った。

実施事業	参加者数
災害時における外国人への支援講座	29名 〔語学ボランティア・関係機関 20名 外国人9名【7か国・地域】〕
医療機関における外国人への支援講座	31名 語学ボランティア・関係機関 20名 外国人11名【5か国・地域】
桜島火山爆発総合防災訓練講座	43名 (うち外国人31名【5か国】)

##### (4) 「地域防災促進事業」の実施

霧島市在住の日本人関係者（霧島市各地区の公民館長、国際交流関係者）、外国人（外国人とその家族、留学生）が、鹿児島県防災センターで、防災について学ぶ「地域防災促進事業」を行った。

開催日	平成29年12月10日（日）
参加者数	22名 (内訳)外国人とその家族、留学生 13名 日本人関係者6名、協会職員3名

##### (5) 相談・支援体制の充実（外国人等相談事業）

在住外国人からの相談等に応じる相談員（中国語対応可）を引き続き配置した。

また、交流推進員及び相談員を中心に、外国人等の生活相談、国際交流に係る相談に適切に応じられるよう、職員の専門知識の習得やカウンセリング技術の向上に努めた。

相談件数	289件（うち外国人相談件数34件）
------	--------------------

## 2 異文化交流の推進

### (1) 「外国人による日本語スピーチコンテスト」の開催

各種国際交流団体と連携して県内在住外国人によるスピーチコンテストを開催し、国籍や文化の違いを越えた相互理解及び国際交流を深める機会とするとともに、多文化共生の社会づくりを目指した。

区分	開催日	出場者	出場者出身国・地域
予選	H30年1月20日(土)	52名 (18か国・地域)	バングラデシュ、カンボジア、中国、インドネシア、マレーシア、ミャンマー、ネパール、パキスタン、フィリピン、韓国、シンガポール、ベトナム、台湾、ブラジル、カナダ、アメリカ、ドイツ、ルーマニア
本選	H30年1月27日(土)	10名 (7か国)	中国、インドネシア、ネパール、フィリピン、韓国、シンガポール、ベトナム

### (2) 「県国際交流員による文化講座」等の開催（再掲）

### (3) 「在住外国人による公募型国際理解講座」の開催（再掲）

## IV 国際協力の推進

### 1 留学生への支援

#### (1) 研究活動費の助成

一定の条件を満たす留学生の学会等への出席などの研究活動を支援するため、旅費等の研究活動費への助成

件数：	3件	助成額：	90千円
-----	----	------	------

#### (2) 留学生の交流活動への支援

東文字・外国人留生活動等支援事業会計を活用し、留学生会等が主催する国際交流・理解事業等に要する経費の助成など、留学生の交流活動等への支援を行い、国際交流・理解をさらに促進した。

件数：	6件	助成額：	400千円
-----	----	------	-------

#### (3) 留学生支援資金貸付制度の運営

留学生が、生活費、住宅費、医療費、学費等で一時的・臨時的に多額の出費を必要とする場合に、無利息での資金の貸付を行った。

件数：	1件	助成額：	100千円
-----	----	------	-------

#### (4) 留学生住宅確保支援事業

留学生が住居を賃借する際に、賃貸契約の連帯保証人として機関保証することにより、留学生の円滑な住宅確保を図った。

保証件数：	17件（更新のみ）
-------	-----------

#### (5) 各大学等留学生担当者意見交換会の開催

留学生に関する情報交換や支援のあり方等について、各大学等留学生担当者との意見交換会を実施し、連携を深めた。

開催日	平成29年4月26日(水)
開催場所	かごしま県民交流センター
参加者	8大学等 23名

## 2 国際協力に対する理解の促進

### (1) 「青少年国際協力体験事業」の実施

鹿児島県青年海外協力隊を支援する会及び青年海外協力隊鹿児島県OB会と連携し、県内の中・高校生等にアジアにおける国際協力の現場を体験させる事業を市町村や企業・団体の協力を得ながら実施した。

派遣期間	平成29年7月23日（日）～30日（日）
派遣国	ラオス人民民主共和国
派遣人数	22名（うち生徒16名）

## 3 国際協力機関等との連携

### (1) 独立行政法人国際協力機構との連携

独立行政法人国際協力機構との連携により、協会内に国際協力推進員を配置し、国際協力等に関する情報提供や相談等に応じた。

### (2) 在外県人会の支援

#### ア 郷土情報の提供

在外県人会並びに県出身者に対して、グラフかごしまや県政かわら版等を定期的に送付し、郷土情報の提供を行った。

#### イ 活動の支援

在外県人会が行う移住者の援護指導、消息不明者の調査、移住者の実態調査、県人子弟の育成・指導、母県との交流などの活動を支援するため、これらの業務を県人会に委託した。

委託先	ブラジル、アルゼンチン、ペルー、パラグアイ
-----	-----------------------



## 〔収益事業〕

県から委託を受けている旅券発給業務補助に付随して、旅券交付申請者の利便性を考慮し、次の事業を行った。

- 1 旅券発給に係る収入印紙・収入証紙の販売協力（再掲）
- 2 旅券用写真の撮影・販売（再掲）

※ 平成29年度事業報告には、「一般社団法人及び一般社団法人に関する法律施行規則」第34条第3項に規定する附属明細書「事業報告の内容を補足する重要な事項」はないので作成しない。